

---

# Maverick S1

## 取扱説明書



# ようこそ！

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

本書では Maverick S1(当製品)を正しく安全に使用するために必要なことを説明しております。

必ず本書の内容を注意深く読んでください。そして、組み立て、機能、メンテナンス、制限及び使用上の注意事項を完全に理解した上で当製品をご使用ください。

ただし、本書では電動バイクを安全に乗るために必要な技術やスキルについては記載しておりません。

- ・ 本書は印刷時に入手可能な最新の情報に基づいています。
- ・ 本書は常に当製品と一緒に保管し、必要に応じて参照してください。
- ・ 本書及び当製品は予告なく変更することがあることに注意してください。
- ・ 最新の情報については、マーベリックテクノロジー株式会社のホームページ ([www.mavericktechnology.jp](http://www.mavericktechnology.jp)) をチェックしてください。
- ・ 本書はマーベリックテクノロジー株式会社の書面による許可なしに、全部または一部を複製、変更することはできません。

# 目次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>5</b>
<b>1.1. 安全に関する表示</b> .....	<b>5</b>
<b>1.2. 安全にお使いいただくために</b> .....	<b>6</b>
① 本体について(電動バイク特有の危険があります).....	6
② バッテリーについて .....	8
③ 充電器について .....	9
<b>2. 組立</b> .....	<b>11</b>
<b>2.1. 前輪タイヤの取り付け</b> .....	<b>13</b>
<b>2.2. ハンドルバーの取り付け</b> .....	<b>15</b>
<b>2.3. 前照灯部品の取り付け</b> .....	<b>16</b>
<b>2.4. シートの取り付け</b> .....	<b>17</b>
<b>2.5. 後写鏡(ミラー)取り付け</b> .....	<b>18</b>
<b>3. 使用方法</b> .....	<b>19</b>
<b>3.1. 各部の名前</b> .....	<b>19</b>
<b>3.2. リモートキーの使い方</b> .....	<b>20</b>
<b>3.3. 電源/モードスイッチの使い方</b> .....	<b>21</b>
<b>3.4. 走行モードについて</b> .....	<b>21</b>
<b>3.5. ディスプレイについて</b> .....	<b>22</b>
<b>3.6. 保安部品操作スイッチの使い方</b> .....	<b>22</b>
<b>3.7. 乗車前の確認</b> .....	<b>23</b>
① タイヤの空気圧.....	23
② ネジの緩み .....	23
③ ブレーキ.....	24
④ 保安部品.....	24
⑤ バッテリー状態.....	25
⑥ 走行モード .....	25
⑦ 積載について .....	25
⑧ 二人乗りについて .....	25
<b>3.8. バッテリーについて(充電方法)</b> .....	<b>26</b>
<b>4. メンテナンス</b> .....	<b>27</b>

4.1. 日常のお手入れ .....	27
4.2. 定期的な点検 .....	27
5. 廃棄について .....	28

# 1.はじめに

## 1.1. 安全に関する表示

本書を読むにあたり、使用者または周囲の方々への損害や、財産の損失を防ぐため、以下の記号の意味を完全に理解してください。



**危険**

誤った使い方をした場合、死亡や重傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれが高いことを示しています。



**警告**

誤った使い方をした場合、死亡や重傷を負うことや、財産の損害が発生する可能性があることを示しています。



**注意**

誤った使い方をした場合、障害を負うことや、財産の損害が発生する可能性があることを示しています。

---

## 1.2. 安全にお使いいただくために

ここでは特に使用上守っていただきたいことを記載しています。安全にお使いいただくために必ずお読みいただき、理解してください。

### ① 本体について(電動バイク特有の危険があります)



警告

乗車の前には毎回、“乗車前の確認”項目の内容を確認してください。

走行中の破損やブレーキが効かないことによる転倒や衝突の恐れがあります。

---



警告

改造や分解、また指定箇所以外への注油はしないでください。

走行中の破損やブレーキが効かないことによる転倒や衝突の恐れがあります。

---



警告

オプションや荷物などを取り付ける場合、乗車の前に安全性や歩行者に危害を及ぼすことがないか十分に注意し確認してください。

走行中の破損やブレーキが効かないことによる転倒や衝突の恐れがあります。

---



警告

操作に慣れるまで交通量が少ない場所で十分に練習してください。

通常のバイクや自転車と特性が異なる加速特性、アシスト特性があります。

最初は走行モード 1 から順に上げていき、特性を十分に理解してください。

慣れない状態で乗車すると事故や転倒の恐れがあります。

---



警告

ペダルやアクセルは必ず本製品に正しく跨った状態で操作してください。

急な加速で事故や転倒の恐れがあります。



警告

本製品に跨る際は必ずブレーキをかけた状態で行なってください。

急な加速で事故や転倒の恐れがあります。

---



警告

乗車中に停止する場合は、停止中にブレーキを解除しないでください。また、ペダルを動かさないでください。

急な加速で事故や転倒の恐れがあります。

---



警告

バッテリーはバッテリーキーで確実に固定した状態で乗車してください。

走行中のバッテリー落下で事故や転倒の恐れがあります。

---



警告

オプションバッテリーを使用しない場合はコントローラーとの接続を切り、付属の防水コネクタで保護してください。

バッテリーの保護装置が劣化し、感電や故障の恐れがあります。

---



危険

バッテリーの接続端子は触れたり濡らしたりしないでください。

バッテリーにおいて感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



危険

ミネラルオイル以外使用しないでください。

別のオイルを使用した場合、ブレーキが破損し、ブレーキが効かなくなることによる事故の恐れがあります。

## ②バッテリーについて



危険

指定の充電器以外で充電しないでください。

発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



危険

本製品以外で使用しないでください。

発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



危険

火への投入、加熱をしないでください。

発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



危険

強い衝撃を与えない、分解や破損した状態で使用しないでください。

感電、発熱、発火、破裂、液漏れによるやけど、失明の恐れがあります。

---



危険

端子に触れない、端子に金属などを接触させないでください。

保管時に端子に金属が触れないようにしてください。

感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



危険

火のそばや直射日光、暖房のそばなど高温になる場所で充電、使用、保管をしないでください。

発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



警告

水に入れたり、水中に投下したりしないでください。

感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



警告

充電中、使用中及び使用直後に長時間触れたり、カバーをかけたり、燃えやすいものを側に置いたりしないでください。

火傷、発熱、発火、破裂の恐れがあります。



警告

幼児やペットが触れる場所で充電、保管しないでください。  
感電、故障、火傷の恐れがあります。

---



警告

廃棄の際は必ず自治体の指示に従って廃棄してください。  
火傷、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---

### ③充電器について



警告

本製品のバッテリー充電以外の用途で使用しないでください。  
感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



警告

分解、改造はしないでください。  
発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



警告

衝撃を与える、水濡れ、高湿度環境での使用はしないでください。  
発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



警告

充電端子に触れたり、金属を接触させたりしないでください。  
感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



警告

電源コード(コンセント側)や電源プラグ(バッテリー側)及び本体が破損したり改造したりされた状態で使用しないでください。  
コードは傷つける、無理に曲げる、束ねる、無理にねじる、無理に引っ張る、熱を加えることにより破損します。  
感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。



警告

充電端子や電源プラグのほこりは定期的にとってください。

発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



警告

濡れた手で取り扱いしないでください。

感電の恐れがあります。

---



警告

電源コード(コンセント側)や電源プラグ(バッテリー側)は確実に奥まで差し込んでください。

感電や発熱により発火、破裂の恐れがあります。

---



警告

配線器具の定格を超えて使用しない、タコ足配線で使用しないでください。

発熱により発火、破裂の恐れがあります。

---



警告

充電中、使用中及び使用直後に長時間触れたり、カバーをかけたり、燃えやすいものを側に置いたりしないでください。

火傷、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

---



警告

幼児やペットが触れる場所で充電、保管しないでください。

感電、故障、火傷の恐れがあります。

## 2. 組立

開梱したら最初に同梱品をご確認ください。



注意:

梱包から同梱品を取り出す際、重量が重いため怪我をしないようにご注意ください。

(移動、開梱は2名での作業を推奨します。)

梱包	No	品目	数量	説明
①	1	取扱説明書	1	本書
②	2	本体フレーム	1	Maverick S1 本体
	3	シート	1	シート
	4	シート固定用ナット	6	シート固定用のナット
	5	ハンドルバー部品	1	ハンドルバー部品
	6	リモートキー~	2	電源 ON/OFF およびセキュリティ ON/OFF を行うキーです。予備 1 個
	7	バッテリー固定キー	2	バッテリーの固定、取り外しをするためのキーです。予備 1 個
	8	フロントフェンダー	1	フロントタイヤのフェンダー(泥除け)
	9	前輪タイヤ	1	前輪タイヤ+取り付け部品
	③	10	前照灯部品	1
11		前照灯固定金具	2	前照灯の固定用金具
12		前照灯固定ボルト	2	前照灯の固定用ボルト
④	13	工具キット	1	組立、整備用
	14	充電器	1	バッテリー充電器
	15	AC ケーブル	1	充電器用 AC ケーブル
	16	ハンドルバー固定金具	1	ハンドルバー固定用金具
	17	ハンドルバー固定ボルト	4	ハンドルバー固定用ボルト
⑤	18	バッテリー	1	メインバッテリー
⑥	19	後写鏡(ミラー)	2	ハンドルバーに取り付けるミラーです。左右 2 個セット、ハンドルバー固定金具付き

梱包品は以下のような形態で梱包されます。写真はイメージ

① 本書

② 本体一式:Maverick S1 本体と主要な構成部品が含まれます。



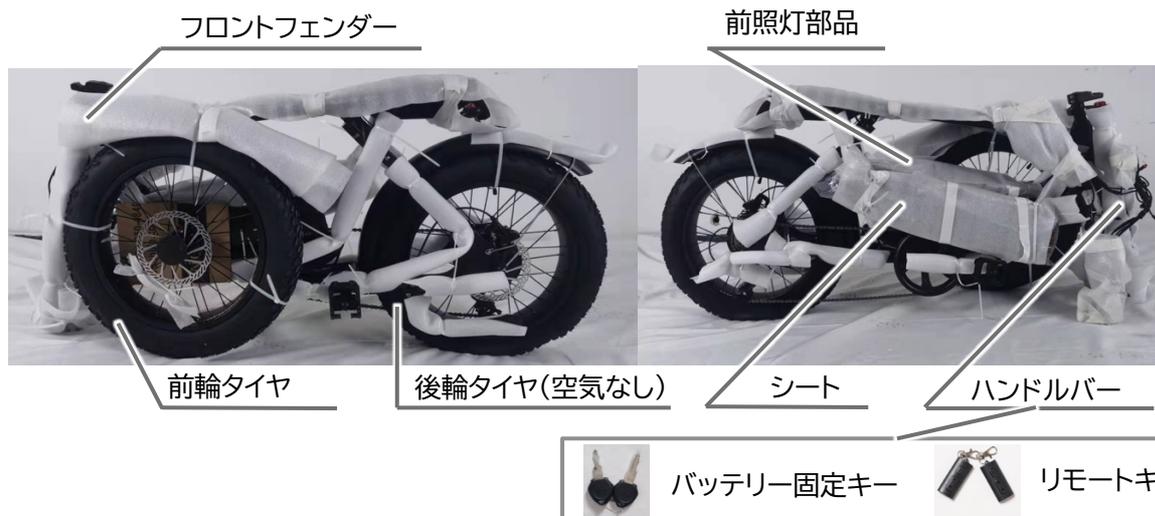
注意:

後輪タイヤは梱包の都合上、空気を抜いた状態です。乗車前に必ず空気を入れてください。



注意:

空気を入れる際はタイヤにチューブを挟まないこと、バルブをタイヤ内に押し込まないように注意してください。空気を入れる前にバルブは軽く引っ張ってください。



③ 前照灯部品:前照灯と方向指示器です。取り付け部品も同梱しています。



④ 付属品一式



## ⑤ バッテリー



## ⑥ 後写鏡(ミラー)



# 2.1. 前輪タイヤの取り付け

必要部材: 本体フレーム、前輪タイヤ・取り付け部品、フロントフェンダー

### ① 前輪タイヤと前輪タイヤに付いている取り付け部品の梱包を外す



### ② 前輪タイヤの中心穴に取り付け部品を取り付ける(ネジは緩め)



- ③ 本体のフロントフォークを持ち上げながら前輪タイヤのシャフトをフロントフォークに差し込み、取り付け部品のネジをレバーが動かせるギリギリまで締め、最後に取り付け部品のレバーを倒しタイヤをロックする



⚠ 注意:  
前輪タイヤ取り付け時にブレーキディスクを曲げたり、ぶついたりしないように気をつけてください。

⚠ 注意:  
本体は重いため、前輪タイヤ取り付け時に指などを挟まないように気をつけてください。

⚠ 注意:  
前輪タイヤ固定後、前輪タイヤを回転させタイヤの回転がスムーズであり、回転異常がないことを確認後、前輪ブレーキが正常に動作し、前輪タイヤが停止することを確認してください。

- ④ フロントフェンダーをフロントフォークに既に付いているボルト3箇所で取り付ける

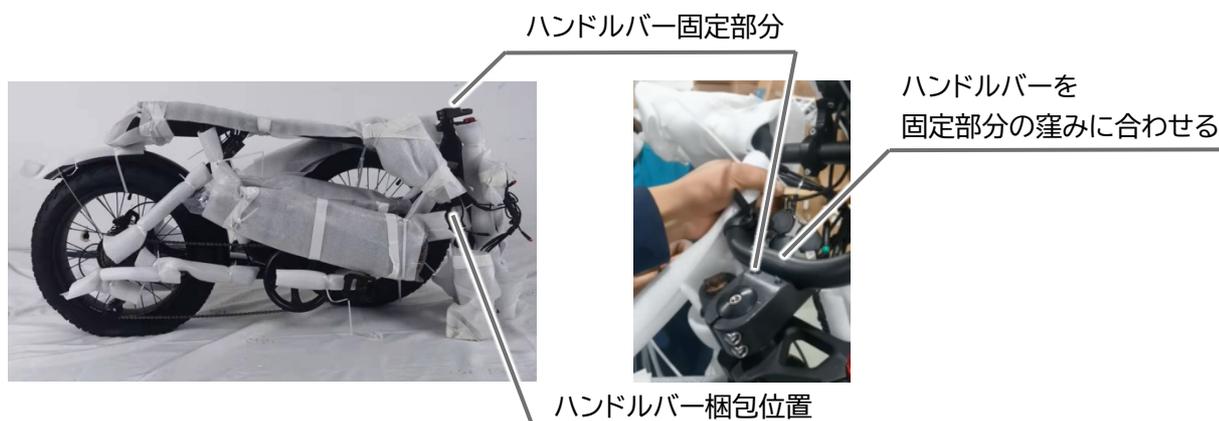
\*フロントフェンダーの取り付けは必須ではありません。  
\*ボルトの固定は付属工具キットの六角レンチを使用します。



## 2.2. ハンドルバーの取り付け

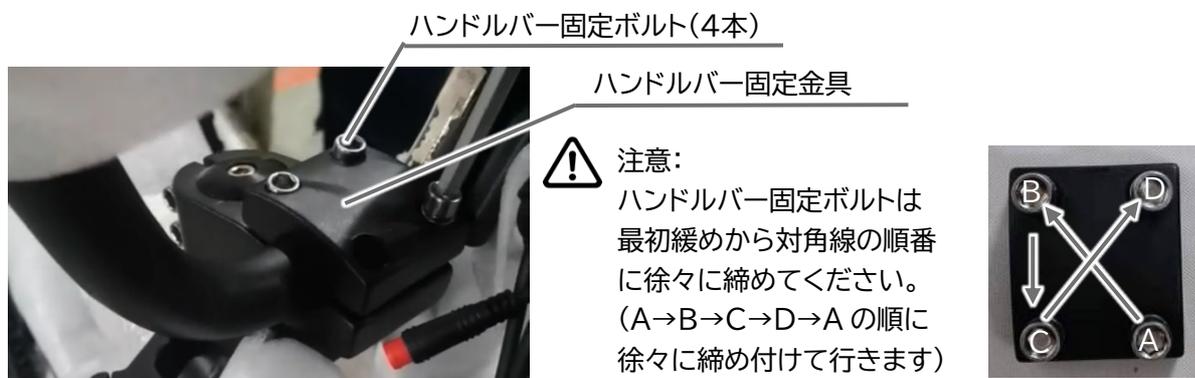
必要部材: 本体フレーム、ハンドル固定金具・ボルト

- ① ハンドルバーの梱包を外す
- ② ハンドルバーを本体のハンドル固定部分の窪みに仮置きする



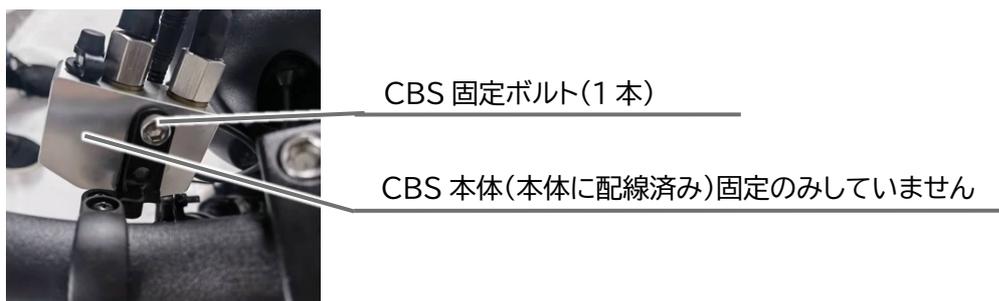
- ③ ハンドルバー固定金具とボルトでハンドルバーを固定する

\*ボルトの固定は付属工具キットの六角レンチを使用します。



- ④ CBS を固定する(Maverick S1-1000 のみ)

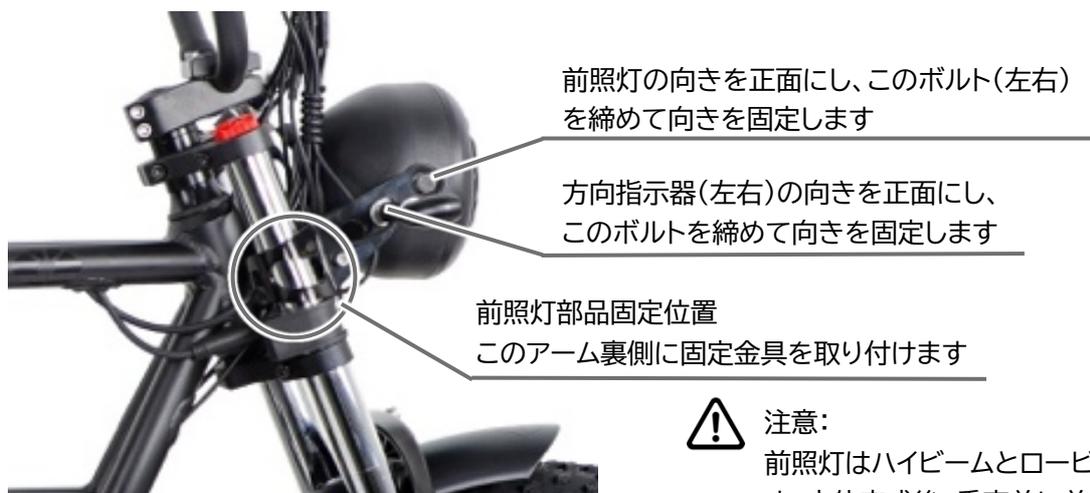
\*ボルトの固定は付属工具キットの六角レンチを使用します。



## 2.3. 前照灯部品の取り付け

必要部材: 本体フレーム、前照灯部品、前照灯固定金具、前照灯固定ボルト

- ① 前照灯部品のアーム部分をフロントフォークの収縮上部の位置に合わせる
- ② 前照灯固定金具にある爪を前照灯部品のアームに差し込み、フロントフォークのパイプを挟むようにボルトで固定する
- ③ 前照灯と方向指示器がガタつかないように固定する  
\*ボルトの固定は付属工具キットのスパナで外側を固定しながら六角レンチで締め上げます。

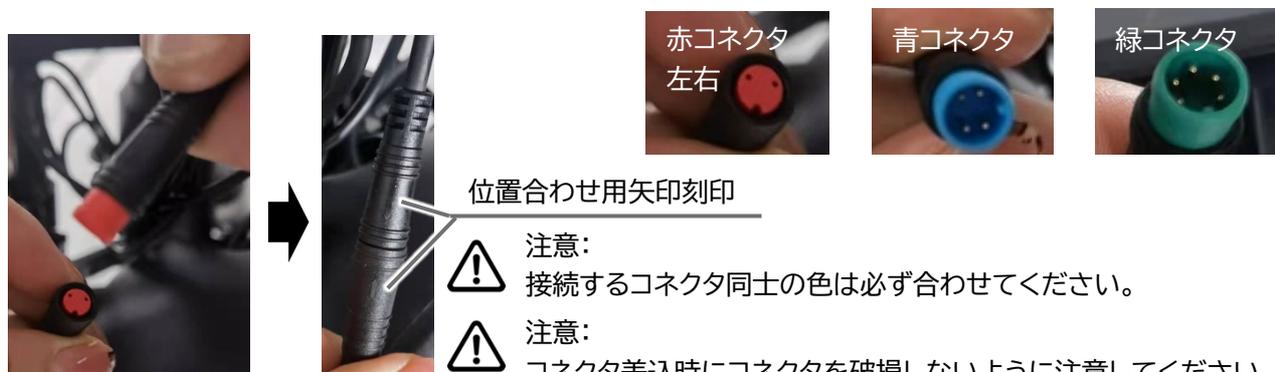


注意:  
前照灯はハイビームとロービームがあります。本体完成後、乗車前に前照灯の角度がハイビーム時に真正面を照射する角度に調整してください

- ④ 前照灯部品のコネクタ 3 種を本体から出ている同色のコネクタにコネクタの色が見えなくなるまで差し込み接続する

\*コネクタは赤、青、緑の3色で色分けされています。

\*誤った位置で刺さらない機構ですが、コネクタの矢印刻印同士を合わせてから差し込んでください。



注意:  
接続するコネクタ同士の色は必ず合わせてください。



注意:  
コネクタ差込時にコネクタを破損しないように注意してください。



注意:  
コネクタは確実に奥まで差込み、本体完成後動作確認してください。

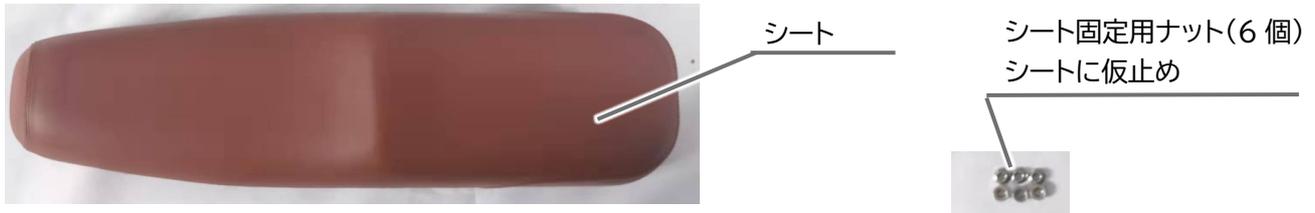
コネクタの矢印刻印同士を合わせてコネクタの色が完全に隠れるまで確実に奥まで差込みます。

## 2.4. シートの取り付け

必要部材: 本体フレーム、シート、シート固定用ナット

### ① シートの梱包を外す

\*シート固定用ナットはシート裏のボルトに仮止めしています。



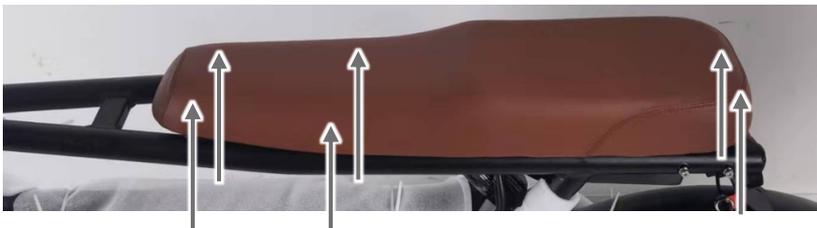
### ② 本体のフレームのシート位置中央のネジをコントローラーカバーが脱落しない程度まで緩めておく



### ③ シート裏側のボルト位置を確認し、本体のフレームにある穴位置に合わせてシートを置いてナットで固定する

\*ボルトの固定は付属工具キットのスパナで6箇所固定します。

\*後部の2箇所のボルトは別部品のコントローラーケースと共用ボルトのため、ねじ穴合わせに注意ください。



シート固定用ナットでシート下から前部、中央、後部の左右で計 6 箇所固定します

- ④ テールランプ(方向指示器、ナンバープレートステー)を後部(オプション含めた最後部に本体またはオプションに付属のボルトで取り付ける



## 2.5. 後写鏡(ミラー)取り付け

必要部材: 本体フレーム、後写鏡(ミラー)

\*ボルトの固定は付属工具キットのスパナを使用します。

- ① ハンドルバーに後方確認しやすい位置に後写鏡を左右2箇所取り付ける。  
\*見た目や見易さによってスペーサーやハンドルバーの取り付け位置を調整してください。

後写鏡(ミラー)位置 1



後写鏡(ミラー)位置 2



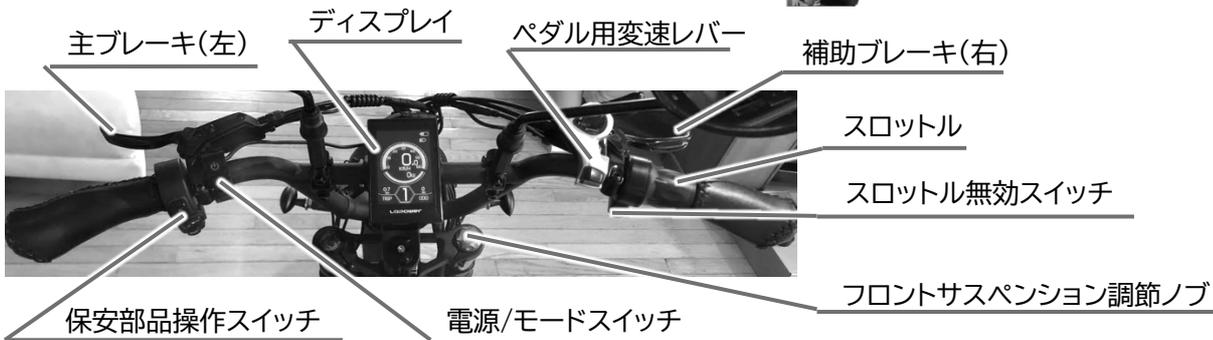
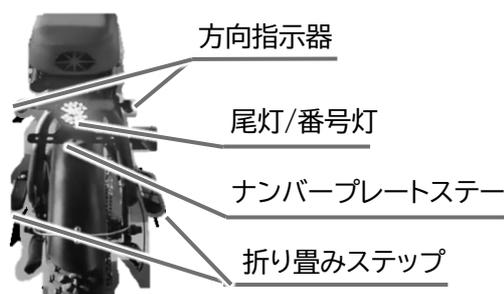
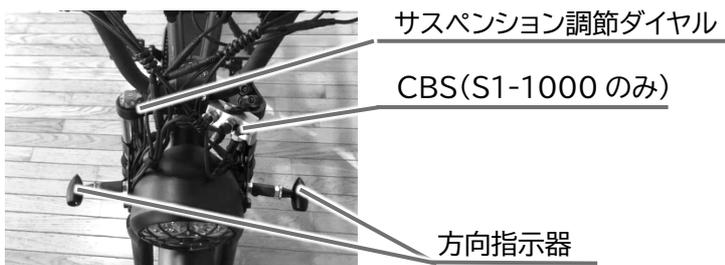
後写鏡(ミラー)左右取り付け位置

⚠ 注意:  
乗車前に必ず、後方確認が確実にできるように後写鏡の位置を調節してください。

⚠ 注意:  
乗車中に後写鏡の位置がずれないように確実に後写鏡についているボルトで固定して下さい。

# 3. 使用方法

## 3.1. 各部の名前



## 3.2. リモートキーの使い方

リモートキーは Maverick S1 の電源 ON/OFF およびセキュリティ ON/OFF を行います。

紛失すると源 ON ができなくなるため、取扱に注意してください。

リモートキーは再発行できません。万一リモートキーを 2 個とも紛失した場合、バイク本体に搭載されているセキュリティモジュール含めて交換となります。



## 3.3. 電源/モードスイッチの使い方

リモートキーで電源 ON にした後、電源ボタン長押しでバイクのシステムが ON になります。



電源ボタン:

長押し 2 秒でシステムの ON/OFF ができます

モード+ボタン:

押す度に走行モードを1つ上にあげます

モード-ボタン:

押す度に走行モードを1つ下にさげます

## 3.4. 走行モードについて

Maverick S1 には 5 個の走行モードがあります。

Maverick S1 の電源 ON にすると安全のため、必ずモード 1 から起動します。

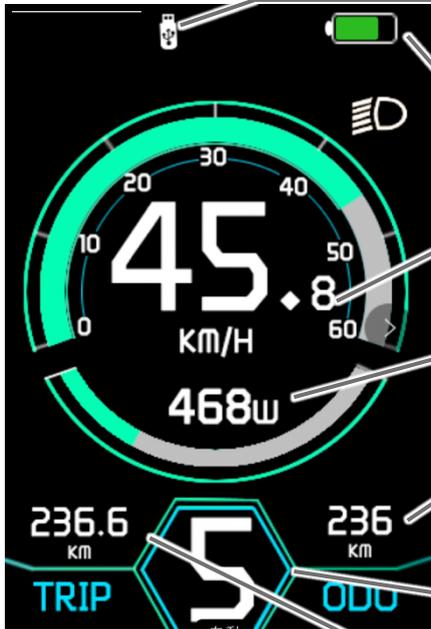
各モードの違いは以下の通りです。

走行モード	ペダル	スロットル	用途
1	アシスト無効	スロットル無効	保安部品、ディスプレイのみ動作
2	約 25km/h	スロットル無効	ペダルアシストのみ動作
3	約 30km/h	約 30km/h	低速走行
4	約 40km/h	約 40km/h	中速走行
5	50km/h 以上	50km/h 以上	高速走行

## 3.5. ディスプレイについて

USB 給電表示:

ディスプレイ下部の充電ポート使用中を示します



バッテリー表示:

バッテリー残量を示します。赤くなったら充電してください

速度表示:

現在の速度を示します。Km/h

消費電力表示:

現在の商品電力を示します。W

ODO 表示:

現在の総走行距離を示します。

モード表示:

現在の走行モードを示します。

TRIP 表示:

現在の走行距離を示します。

## 3.6. 保安部品操作スイッチの使い方

前照灯、方向指示器、ホーン



Hi/Low ビーム切り替えスイッチ

方向指示器スイッチ

ホーンスイッチ

## 3.7. 乗車前の確認

### ①タイヤの空気圧

道路状況に応じて乗車前に必ず適正な空気圧であることを確認してください。

道路状況	空気圧(PSI)	備考
オンロード	20-25 PSI	通常はこの数値を維持してください。
オフロード	12-15 PSI	砂利道や林道など衝撃の吸収が必要な路面に適しています。
雪上、砂地	1-8 PSI	この空気圧ではホイールやタイヤが破損しやすいため、硬い場所を走行しないでください。

### ②ネジの緩み

以下の各所にネジの緩みがないか確認してください。

確認項目	確認方法	備考
ハンドルバー	乗車状態でハンドルを前後に振りガタ付きがないことを確認	
操作スイッチ類	実際に操作し、操作時に動いたり、ガタついたりしない事を確認	
前照灯	前照灯の向きが簡単に動かない事を確認	
方向指示器 (前後)	方向指示器のガタ付きがない事を確認	
尾灯	ガタ付きがない事を確認	
タイヤ (前後)	取り付け部品のレバー(前輪のみ)が倒れており、容易に動かないこと、タイヤにガタ付きがない事を確認	
リアキャリア、 その他オプション	ガタ付きやボルトが手で回せるまで緩んでいるなどない事を確認	

### ③ ブレーキ

以下の項目を確認してください。

-  注意：  
乗車前に必ず、後 CBS 搭載モデルは主ブレーキ(左)が制動時のブレーキ、補助ブレーキ(右)は減速時のブレーキになっており、補助ブレーキは主ブレーキより弱く設計されています。制動時は主ブレーキを使用してください。

確認項目	確認方法
ブレーキの効き	左右のブレーキを握り、ブレーキが確実に利くことを確認
ブレーキ油漏れ	目視にて漏れがないか確認
ブレーキホース損傷	目視にて損傷箇所がないか確認
ブレーキキャリパー、ブレーキディスクのガタ付き	ボルトでしっかり固定されており、ブレーキキャリパーやブレーキディスクにガタ付きがないこと
ブレーキディスクとブレーキキャリパーの位置	ブレーキディスクが常にブレーキキャリパーに接触していないことを確認

### ④ 保安部品

以下の項目を確認してください。

確認項目	確認方法
前照灯	Hi/Low ビーム切り替えスイッチに連動し、Hi ビーム/Low ビーム切り替えができ、十分な明るさがあることを確認 バイクのシステム ON(モーターが動く状態)時は常に点灯していることを確認
方向指示器	ハンドルの方向指示器スイッチで前後左右の方向指示器が点滅することを確認
尾灯/ブレーキランプ	バイクのシステム ON時は常に点灯していること、ブレーキレバー左右をそれぞれ握るとブレーキランプが点灯することを確認
番号灯	バイクのシステム ON時は常に点灯していることを確認
ホーン	ホーンスイッチにより動作することを確認

## ⑤ バッテリー状態

以下の項目を確認してください。

確認項目	確認方法
バッテリー充電状態	バッテリーのスイッチを ON にし、残量ボタンを押してランプが 2 個以上点灯することを確認
バッテリーロック	バッテリーキーで固定されていることを確認
バッテリー外観確認	バッテリーの外観上の破損および異常発熱がないか確認
充電口確認	バッテリーの充電口にあるカバーにより、水やホコリが入らないようになっていることを確認

## ⑥ 走行モード

Maverick S1 は電源を入れると必ずモード 1 から起動します。

モード 1 以外で乗車した場合、ペダルアシストが急に動作し、大変危険です。

必ずディスプレイでモード 1 になっていることを確認してから乗車してください。

## ⑦ 積載について

荷物を積載する場合は、別途オプションのリアキャリアをご使用ください。

## ⑧ 二人乗りについて

公道での二人乗りは Maverick S1-1000（原付2種）のみ可能です。必ず交通法規を確認し、乗車ください。

二人乗りの乗車時は2名合わせて 140kg の重量までにしてください。

 注意：  
二人乗りする際は、別途オプションのバックレストをご利用ください。

 危険：  
二人乗りの際、後部に乗車する人はステップを展開し、必ずステップに足をつけフレームにしっかりおつかまり下さい。

## 3.8. バッテリーについて(充電方法)

- 電動バイクの特性上、バッテリーが減ってくるとモーター出力が落ちてきます。速度やトルクが必要な場合はバッテリーをなるべく満充電状態でご使用ください。
- バッテリーは消耗品です。走行距離が短くなってきたと感じたら買い替えを検討ください。
- バッテリーを充電する際は先に充電器をコンセントに接続した後、充電器とバッテリーを接続してください。
- 充電器の充電状態ランプが赤は充電中を示しています。緑は充電完了です。



充電状態ランプ:  
赤 = 充電中、緑 = 充電完了



バッテリーロック:

バッテリーロックキーで回すことでバッテリーをバイクに固定/解除します。

バッテリー残量確認:

ボタンを押すと、バッテリーの残量をランプで表示します。

# 4. メンテナンス

## 4.1. 日常のお手入れ

- 本製品は雨天を考慮しておりますが、浸水や豪雨には対応しておりません。保管時は屋根の下、またはカバーをつけてください。
- 汚れた場合、水による洗車は絶対にしないでください。乾いた布で拭いていただくか、布を濡らし、硬く絞った上で拭き取ってください。
- 本製品に使用しているブレーキオイルはミネラルオイルです。他のオイルは絶対に使用しないでください。



危険:

ミネラルオイル以外使用しないでください。

別のオイルを使用した場合、ブレーキが破損し、ブレーキが効かなくなることによる事故の恐れがあります。

- マーベリックテクノロジー株式会社のホームページ ([www.mavericktechnology.jp](http://www.mavericktechnology.jp)) では随時、最新情報を更新しています。定期的に(数ヶ月に1度)チェックしてください。

## 4.2. 定期的な点検

- 点検で不明点がありましたら販売元、または最寄りのバイク、自転車修理店にご相談ください。
- 本製品ではブレーキパッド、ブレーキオイル、
- マーベリックテクノロジー株式会社のホームページ ([www.mavericktechnology.jp](http://www.mavericktechnology.jp)) では随時、最新情報を更新しています。定期的に(数ヶ月に1度)チェックしてください。

## 5. 廃棄について

- 本製品の廃棄にあたっては管轄の自治体の規定に従ってください。
- 本製品のバッテリーはリチウムイオン電池です。絶対に他のゴミと一緒に捨てないでください。